



# 北陸農政局 消費者の部屋

展示期間：12月9日（木）～1月7日（金）

展示テーマ：北陸地域の

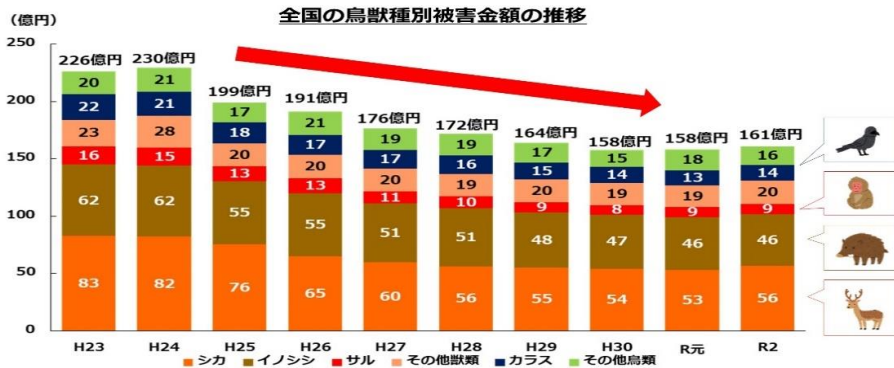
野生鳥獣の現状と対策



# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】 ①

## 全国の野生鳥獣による農作物被害の概況

- 野生鳥獣による農作物被害額は、近年、160億円前後で推移しており、数年前から減少傾向にある。
- しかし、鳥獣被害は宮農意欲の減退、耕作放棄地の増加等をもたらし、被害額として数字に現れる以上に農山漁村に深刻な影響を与えている。
- 近年はシカ・イノシシの被害が多く、2種で約6割を占める。
- 鳥獣被害が深刻化している要因としては、鳥獣の生息域の拡大、狩猟による捕獲圧の低下、耕作放棄地の増加等が考えられる。



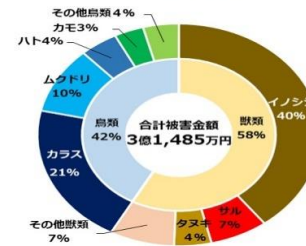
## 北陸地域の野生鳥獣による農作物被害の概況

- 北陸地域の野生鳥獣による農作物被害額は、23年度から約5億円程度で横ばいで推移しており、近年、新潟県でのイノシシによる被害金額の増加が顕著となっている。
- 被害額のうち全体の約4割がイノシシであり、カラス、サルの順で多くこの3種で被害金額の7割以上を占めている。
- 全国で被害の多いシカは北陸地域では全体の3%に留まっている。



## 北陸農政局管内各県別の野生鳥獣による令和2年度農作物被害状況の特徴

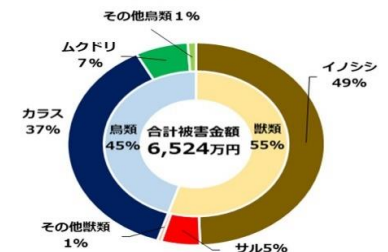
### 新潟県



- 1位：イノシシ (1億2,486万円)
- 2位：カラス(6,466万円)
- 3位：ムクドリ (3,046万円)

- ・イノシシ被害が急増
- ・カラス、ムクドリ等鳥類の被害も多い。

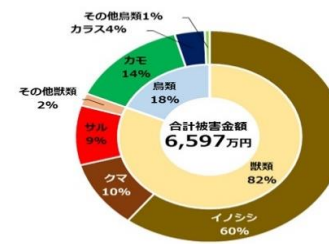
### 富山県



- 1位：イノシシ (3,299万円)
- 2位：カラス(2,444万円)
- 3位：ムクドリ (431万円)

- ・イノシシ被害が半数程度
- ・特定地域で果樹等のカラス被害

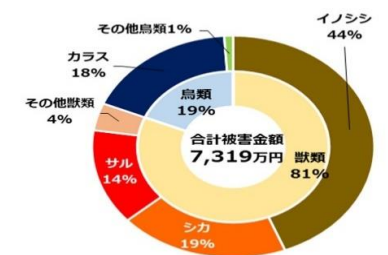
### 石川県



- 1位：イノシシ (3,984万円)
- 2位：カモ(933万円)
- 3位：クマ (676万円)

- ・イノシシ被害が最も多い
- ・次いでカモ (主にレンコン)
- ・近年、被害のなかったクマ被害が発生

### 福井県



- 1位：イノシシ (3,222万円)
- 2位：シカ(1,426万円)
- 3位：カラス (1,289万円)

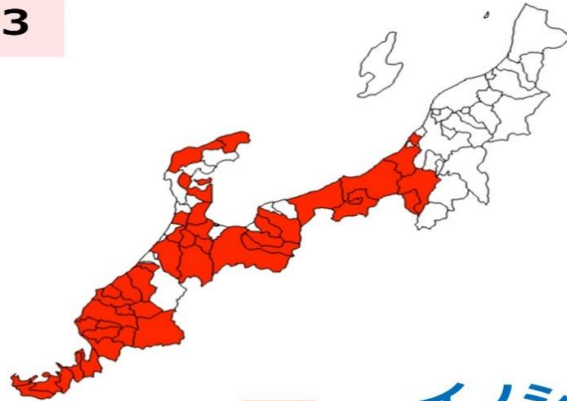
- ・イノシシ被害が最も多い
- ・北陸では被害の少ないシカ被害が多いことが特徴



# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】②

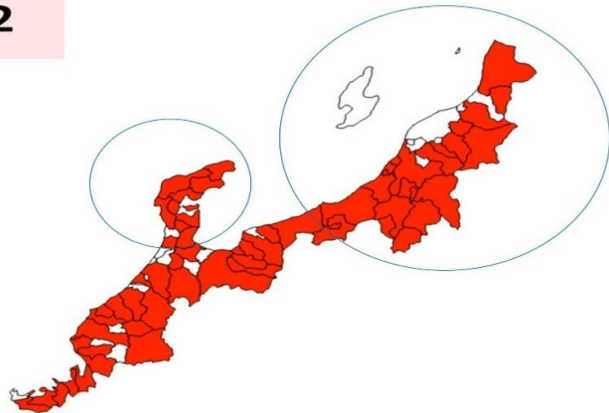
## 北陸地域 イノシシの被害エリアの 広がり(H23→R2)

H23



イノシシの  
生息域が北上

R2



## 鳥獣被害対策の3つの柱

- 鳥獣被害対策は、**個体群管理**、**侵入防止対策**、**生息環境管理**の3本柱が鉄則。
- この3つの活動をいかに徹底してできるかが、対策の効果を大きく左右。

### 第1の柱…個体群管理（捕獲）



檻・わなの設置



狩猟

農作物に被害を及ぼす個体を檻やわなで捕獲したり、銃による狩猟によって生息個体数を管理します。

### 第2の柱…侵入防止対策（柵の設置等による侵入防止）



侵入防止柵の設置



サルの追い払い  
(バチンコ)

侵入防止柵の設置や集落ぐるみの追い払いによって、加害個体の侵入を防ぎます

### 第3の柱…生息環境管理（放任果樹の伐採、刈払いによる餌場・隠れ場の撲滅）



緩衝帯整備



放任果樹の伐採

餌となるような放任果樹を除去したり、緩衝帯を設置し隠れ場をなくし、加害個体が近寄りにくくします

人にとっては不要でも  
動物にとっては**おいしいエサ**

# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】③

## 捕獲わなの種類

### ○ 箱わな

- ・ 罠の中に餌をまきイノシシを誘導し扉のロックが外れると扉が閉まります。
- ・ 頻繁に移動させると誘因効果が低くなります。

餌となる米ぬか  
などを置きます



箱わな設置状況



捕獲状況

### ○ 囲いわな

- ・ 群れごとに捕獲する罠です。
- ・ 捕獲後の処理はくくりわなに比べて安全ですが罠になれるまで時間がかかることがあります。



囲いわな設置状況



捕獲状況

### ○ くくりわな

- ・ 設置場所の選定や設置手法に一定の技術が必要です。
- ・ また、捕獲後の処理は他の罠に比べ経験が必要です。



くくりわな



捕獲されたイノシシ

※【改訂版】野生鳥獣被害防止マニュアル イノシシ、シカ、サル（実践編）、林野庁HPより引用  
※現地写真より

## 柵の種類

### ○ 電気柵

- ・ 電気ショックの痛みを野生動物に経験させ、柵に近寄り難くさせるためのものです。
- ・ 柵線を確認させるために動物の目線に合わせて設置することも重要です。



水田にはられた電気柵



電気柵設置作業

### ○ 金網柵

- ・ 金網柵は中の作物が見えてしまいますが、イノシシに掘り返されないように下部を山側に折り返すことで潜り込みを防ぐことができます。



金網柵設置風景



### ○ テキサスゲート



- ・ テキサスゲートとは、人や車は通れますが、シカ・イノシシなど動物が渡りにくく、忌避効果の高い害獣侵入防止装置です。

- ・ 金網や柵が設置できない道路上の対策として有効です。

※現地写真より



# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】④

## 最新の捕獲わな・柵

### ○ ICTを活用した箱わな

- ・対象となる害獣が檻内に侵入した際に人工知能（ロボット）の判断により罠を作動させます。
- ・目標頭数が檻内に侵入した時点で自動捕獲する機能もあります。

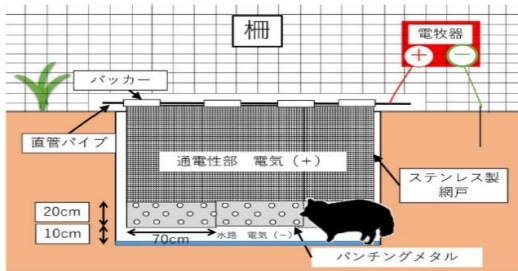


この時点で捕獲

※ICTを用いた大型檻、罠の遠隔監視・操作と捕獲の自動化の融合技術（人の判断と自動システムによる高効率省力化技術）の開発より

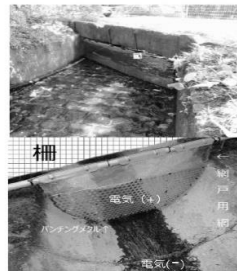
### ○ 水路からの侵入を防ぐ通電性のれん技術

- ・網戸およびパンチングメタルを接合した「のれん型」の通電部分を有する電気柵を水路の上部からつり下げることで水路からの動物の侵入を防ぐことができます。



模式図

※柵と水路の交点からの動物侵入を防止する通電性のれん型技術の開発（山梨県総合農業技術センター）より



設置の様子

上：大型水路  
下：小型水路

## ～イノシシ生態 豆知識～ 食べ物

- ・雑食性で人間がたべるようなものは全て食べます。
- ・芋やタケノコ、特に稲の穂などが大好き
- ・ミミズや昆虫の幼虫、ネズミなどの小動物も食べます。



## 行動

- ・夜行性と思われやすい動物ですが、本来昼に活動する動物です。人の気配がなければ昼間にも行動します！

毎年春に2～8頭の子供を出産

- ・雄は単独で、雌はふつうその年生まれの子どもと生活します。単独型の社会を持っているので大量捕獲は難しいといわれています。
- ・イノシシは高い記憶能力と学習能力をもち、侵入に成功した仲間のまねをすることもあります。
- ・イノシシは50～60kgの重さの岩等を持ち上げ押し動かすことができます。
- ・イノシシは剛毛のため体は電気柵に当たっても通電しません。鼻先は敏感で電気刺激に弱い！

# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】⑤

## ～コラム～

### 対策するために動物を知る

あなたがもし、鳥獣害対策をしたら、まず、どのような知識を得ようと思いますか？

「どのくらいの高さの柵なら動物に飛び越えられないか？」  
そのような対策に直結するような知識も重要です。

しかし、そのような知識だけではなく、動物が一体どのような生活をしているのかを知ることも重要です。

例えば、全国的に個体数が増加しているシカを効率的に減らすためにはどうすればいいのでしょうか？

そのヒントはシカの繁殖の仕方にあります。  
シカは一夫多妻制で、強いオスがメスを独占して、  
たくさんの子孫を残すことができます。



では一番強いオスを獲ればいいのでしょうか？  
残念ながら一番強いオスを獲ったとしても、二番目に強いオスが  
代わりにその近くのメスを独占し、交尾するでしょう。

つまり、シカを減らすためには、オスを獲るよりメスを  
獲る方が効率的なのです。



## ～コラム～

### こんな話を信じていませんか？①

・イノシシは夜行性なので光に弱い

⇒ **夜行性ではなく昼に活動**  
します。

人を避けるため日没後の  
出没が多いだけです。

イノシシは人と違い色**を**  
**明確に認識できません。**

赤は灰色  
に見えるよ



・天敵である**オオカミ**の糞尿を置いておくと、  
**本能的に忌避**して防除できる。

⇒ **環境の変化に警戒**しただけと考えられ一定期  
間が経過すれば、慣れてしまう可能性があり  
ます。

※飼育したイノシシを用いた実験では、オオカミの尿の  
臭いそのものに対する**忌避行動は見られませんでした。**



俺の臭い  
怖いだろ

臭いだけ  
じゃ怖く  
ないよ





# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】⑥

## ～コラム～

### こんな話を信じていませんか？②

- ・イノシシが、忌避して食べない作物がある。

⇒ 餌として認めておらず無視している可能性があります。



エサじゃないから無視するよ



- ・牛やヤギなどの家畜は、野生動物を追い払ってくれる。

⇒ 家畜は野生生物を追い払いません

※放牧により、イノシシの隠れ家となる雑草やイノシシの餌となるくずなどが除去される等で環境管理の効果が期待できます



イノシシがいてもそんなの関係ねえ

詳しくはこちらの動画をご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=RxGoSxm9onE&list=PLW99yTRNzVkmXcXpocCOwR4xmTpq-hitA&index=6>

## なぜ、今ジビエなの？

「ジビエ (Gibier)」はフランス語で“狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉”を意味する言葉です。日本でも古くから狩猟肉を食べる文化がありました。

被害防止のために捕獲を進めるだけでなく、捕獲鳥獣を地域資源(ジビエ等)として、利用し、農山村の所得に変えるような有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在に変える取組を全国に広げていくことが重要です。

### マイナス面

野生鳥獣による農作物被害の増大

営農意欲の減退

耕作放棄地の拡大

農山村地域の衰退



有害鳥獣の捕獲

捕獲鳥獣の処理が負担に

ジビエ振興

これまで廃棄していた捕獲鳥獣のジビエ利用拡大を推進

### プラス面

積極的な捕獲の推進

様々な分野ジビエ利用

- ・農泊・観光
- ・外食・小売
- ・学校給食
- ・ペットフード など

農作物被害の低減が期待

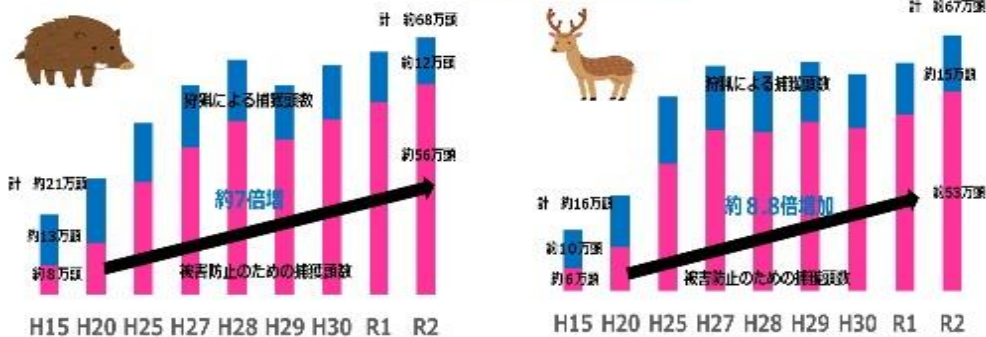
農山村地域の所得向上が期待



# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】 ⑦

## なぜ、今ジビエなの？

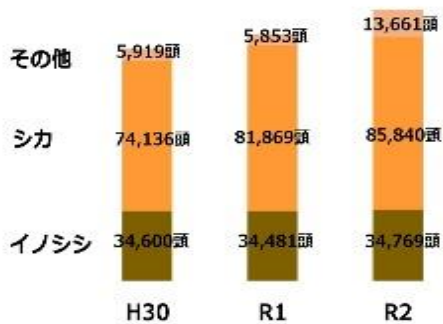
- 近年、被害防止等を目的とする捕獲が中心に行われ、**イノシシ及びシカの捕獲頭数が大幅に増加**
- 捕獲鳥獣は埋設や焼却。処理が負担に



- 食肉利用は捕獲頭数の**1割程度**
- 近年、野生鳥獣の**ジビエ利用は増加傾向**

### ジビエ利用頭数

計 96,907頭 計 114,655頭 計 122,203頭



### ジビエ利用量

計 1,904t 計 2,008t 計 1,810t



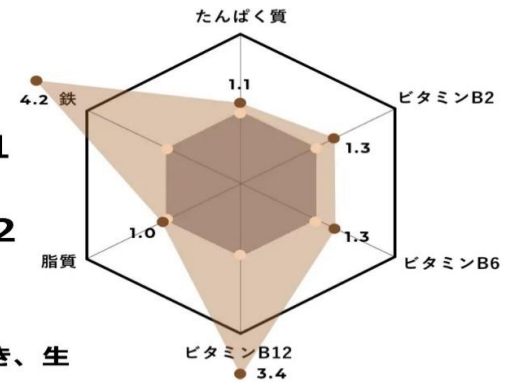
## ジビエの栄養価

イノシシ  
カロリー（100g当たり）

**268kcal ※1**

**253kcal ※2**

- ※1 肉、脂身つき、生
- ※2 [大型精肉]肩ロース、脂身つき、生

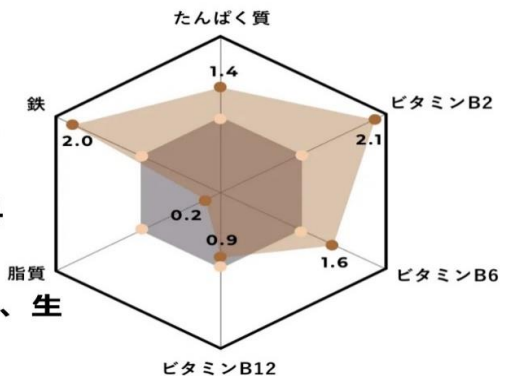


シカ  
カロリー（100g当たり）

**140kcal ※3**

**317kcal ※4**

- ※3 ニホンジカ、赤肉、生
- ※4 [和牛肉]サーロイン、赤肉、生



出典：文部科学省「日本食品標準成分表2015年版（七訂）追補2017年」  
（※：「日本食品標準成分表2015年版（七訂）追補2017年」）

引用元：<https://gibierto.jp/content/happy>



# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】 ⑧

## ジビエの安全と信頼の確保のために

「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針（ガイドライン）」  
（平成26年11月策定、令和2年5月改正）

ガイドラインでは、ジビエを不特定または多数の者に供与する狩猟者や食肉処理業者、飲食店営業者等が共通して守るべき衛生措置が記載されています。  
また、食用として問題がないと判断できない疑わしいものは廃棄することを前提に、具体的な処理方法についても盛り込まれています。

### 野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針（ガイドライン）の項目

#### 狩猟

- 狩猟しようとする野生鳥獣に関する異常の確認（家畜の生体検査に相当）
- 食用とすることが可能な狩猟方法
- 屋外で放血する場合の衛生管理
- 屋外で内臓摘出する場合の衛生管理、内臓の異常の有無の確認
- 狩猟者自身の体調管理及び野生鳥獣由来の感染症対策

#### 運搬

- 具体的な運搬方法
- 狩猟者と食肉処理業者の連絡体制
- 狩猟個体の相互汚染防止
- 食肉処理業者に伝達すべき記録の内容

#### 処理

- 狩猟者における衛生管理についての確認
- 食肉処理場の施設設備等
- 食肉処理業者が、解体前に当該野生鳥獣の異常の有無を確認する方法（家畜の解体前検査に相当）
- 食肉処理業者が解体後に野生鳥獣の異常の有無を確認する方法（家畜の解体後検査に相当）
- 工程毎の衛生管理（HACCPの考え方を導入）

#### 加工、調理、販売

- 仕入れ先
- 記録の保存
- 十分な加熱調理
- 使用器具の殺菌
- 野生鳥獣である旨の情報提供

#### 消費

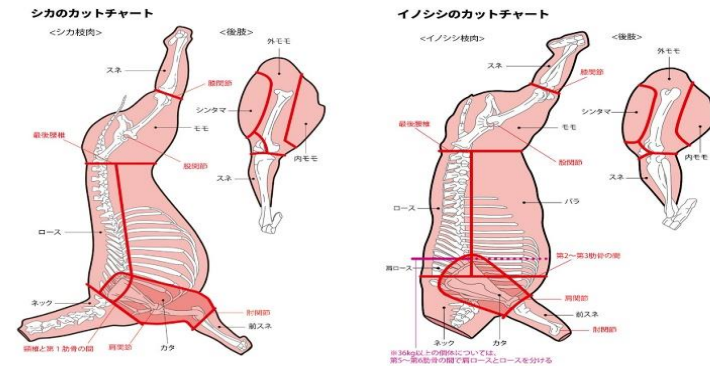
- 十分な加熱調理
- 使用器具の殺菌

※ジビエ（野生鳥獣の肉）はよく加熱して食べましょう

## ジビエの安全と信頼の確保のために

### 国産ジビエ認証制度

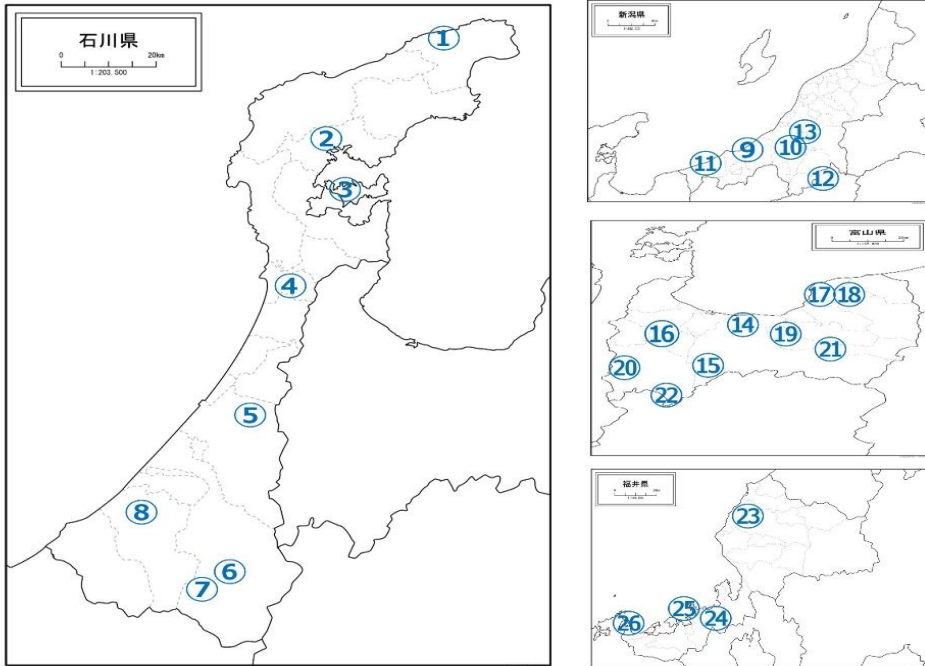
- ジビエの処理加工施設の自主的な衛生管理等を推進するとともに、より安全なジビエの提供と消費者のジビエに対する安心の確保を図るため、平成30年5月に「国産ジビエ認証制度」を制定。
- 本制度は、厚労省ガイドライン及びカットチャートによる流通規格の遵守、適切なラベル表示によるトレーサビリティの確保等に適切に取り組む処理加工施設を認証。
- また、認証を受けた処理加工施設で生産されたジビエ製品等に認証マークを表示するルールを規定。





# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】 ⑨

## 北陸管内の獣肉処理施設



- 石川県**
- ① 奥能登ジビエしおかぜファーム (石川県珠洲市)
  - ② 星山食品 (石川県穴水町)
  - ③ 山本ジビエ施設 (石川県七尾市)
  - ④ 合同会社のとしし団 (羽咋市獣肉処理施設) (石川県羽咋市)
  - ⑤ ジビエ工房三谷 (石川県金沢市)
  - ⑥ Hunter Base Japan (石川県白山市)
  - ⑦ 白山ふもと会 (石川県白山市)
  - ⑧ ジビエアトリエ加賀の園 (石川県小松市)
- 新潟県**
- ⑨ 柿崎プーシェリー (新潟県上越市)
  - ⑩ 雪国Base (新潟県十日町市)
  - ⑪ 惣右工門 (新潟県糸魚川市)
  - ⑫ じび栄 (新潟県南魚沼市)
  - ⑬ ホタル喰楽ぶ (新潟県長岡市)

- 富山県**
- ⑭ グランマルシェタケダ (株) (富山県富山市)
  - ⑮ 大長谷ハンターズジビエ (富山県富山市)
  - ⑯ (株) にくまる (富山県高岡市)
  - ⑰ 狩猟屋 (富山県黒部市)
  - ⑱ 新川地区獣肉加工施設 (阿蓬の森工房) (富山県黒部市)
  - ⑲ (株) K・MEAT (ケーミート) (富山県上市町)
  - ⑳ 猪屋 (富山県南砺市)
  - ㉑ ジビエスタ立山 (富山県立山町)
  - ㉒ Dotok (富山県南砺市)
- 福井県**
- ㉓ ふくいウエストサイドジビエの会 (福井県福井市)
  - ㉔ 美浜町新庄獣肉加工施設 (BON1029) (福井県美浜町)
  - ㉕ 嶺南地域有害鳥獣対策処理加工施設 (若狭ジビエ工房) (若狭ジビエ工房)
  - ㉖ 若狭高浜いのしかい (福井県高浜町)

注) 県から報告のあったジビエの処理加工施設を取りまとめたものであり、管内の全ての施設を網羅したものではありません。

## 北陸管内優良事例紹介 (令和2年度鳥獣対策優良活動表彰)

### 農村振興局長賞 (被害防止部門 (団体))

獣害被害が小さい平野部の地区も含めた協議会を設置し、侵入防止柵の維持管理実施地区 (山間部) の活動を支援するため、平野部の住民から協力を徴収し基金を造成。実施隊ではベテランによるマンツーマン指導により後継者を育成。

### 朝日町有害鳥獣対策協議会

(会長: 水島 一友) 富山県下新川郡朝日町

#### 主な取組

- サルやイノシシによる農作物被害が増加したことから、平成16年度以降、山沿いの全6地区で協議会を設立し、平成22年度には、平野部の自治振興会を含めた朝日町有害鳥獣対策協議会に発展。平成20年から、勉強会や先進地視察、集落環境整備、侵入防止柵の導入を実施。
  - 平成22年度以降、山沿いの地区では電気柵の維持管理のため、全世帯から費用負担の協力を得た基金を造成。
  - 町の中心部へのイノシシ等の出没をきっかけに、「鳥獣対策は山沿いの集落だけの問題ではない」との意識が高まり、平成24年度には、平野部4地区でも基金を造成 (全世帯の92%が賛同) し、それに町が積み増しを行い、維持管理を実施する山沿い6地区に維持活動費を分配。維持管理活動は、班編制により月1回以上、各戸1名参加を原則に実施。
  - 平成26年、朝日町有害鳥獣対策実施隊を組織。山沿い6地区に大型檻45基を設置。捕獲経験の浅い隊員には、1年間、ベテランによる捕獲現場でのマンツーマン指導を行う等捕獲技術の次世代継承を実施。
  - 地域住民による「鳥獣に強い安心な町づくり」を推進。
- 【朝日町】  
イノシシ捕獲頭数 平成21年度: 30頭 → 平成30年度: 107頭  
イノシシによる被害金額 平成21年度: 383万円 → 平成30年度: 57万円

### 農村振興局長賞 (被害防止部門 (団体))

若手生産者による組織が、被害発生直後に迅速に侵入防止柵の設置等による獣害対策を実施。柵の状況やイノシシの痕跡を地図に落とし込むことで改善点を明確化。ドローンの活用による見回りの省力化を図る等により、被害額を大幅に削減。

### エコフィールドとみつ

(代表: 杉田 康彰)

#### 主な取組

- 平成28年秋頃から「とみつ金時」を特産品とする常津地区にイノシシが出没し始め、翌年に被害が一気に拡大。
- 平成29年、若手生産者組織のエコフィールドとみつは、集落役員や関係機関等と協力して集落点検を実施し、その結果を基に、電気柵を中心とした被害防止計画を作成。
- 電気柵の整備状況とイノシシの痕跡を地図上に落とし込むことで、共通認識を醸成。イノシシの侵入経路が変化するように地図を更新し、改善点を明確化。
- 傾斜地では電気柵の効果が出にくいことが分かり、金網柵と大規模緩衝帯による対策を実施。隣接施設の金網柵との隙間が侵入経路と分かった際には、話し合いにより柵を設置。
- イノシシを誘引する原因となっていたかんしょ残渣は、共同廃棄場所を設け、電気柵を設置。
- 市の助成事業を活用して狩猟免許取得を促進し、このうち1人が有害鳥獣捕獲隊として常津地区等の捕獲を担う。
- 侵入防止柵の不具合やイノシシの痕跡が見つかった場合はSNS等により情報共有するほか、ドローンを活用して見回りを省力化。これらの取組により、被害額を大幅に削減。

【あわらのかんしょの報告額】  
平成29年度: 400万円 → 令和元年度: 22万円





# 【北陸地域の野生鳥獣の現状と対策】 ⑩

令和  
3年度

## 鳥獣被害防止に向けた 集中捕獲キャンペーン



「人と野生動物のバランスを  
取り戻すために」

農ガール  
MADE WITH  
イラスト：鎌山のぶひろ  
©Nobuhiko Midoi-yama

- シカとイノシシは平成の30年間で大きく数を増やし、農作物を食べたり、街に降りてきて問題を起こしたりと、被害が増えています。
- そこで、令和2年度の狩猟期を「集中捕獲キャンペーン」と位置づけ、全国で集中的な捕獲を行った結果、皆様のご協力により、年間約135万頭と、過去最高の捕獲頭数を記録しました。
- 今年度も引き続き捕獲強化を進めるため、ハンターや農林業者、自治体職員の方をはじめ、地域の皆様におかれては、鳥獣による被害を減らし、人と野生動物のバランスを取り戻すため、期間中のご協力をお願いいたします。



全国の市町村数 1,741。うち  
鳥獣による農作物被害が認め  
られる市町村数は約1,500。



農作物被害額 158億円(令和2年度)  
30年間でシカは約7倍(約100倍近く)、  
イノシシは約3倍に増加。



環境省

農林水産省

見つける。新たな魅力

2021.11.1 mon.  
—2022.2.28 mon.

# 全国 ジビエ フェア

はじめよう、ジビ活



「おいしい！」  
そのよさごびがあなたの生活の豊かさに繋がり、誰かの役にたつ。  
そんな素敵な食材 それがジビエです。  
ジビエを食べた時よりも少し特別な時間を過ごすこと  
ジビエからヘルシーで栄養豊富な自然のパワーをチャージすること  
ジビエを通じて新たな食の魅力に出会うこと  
それが、日本の農業・自然の未来をまもることに繋がっています。  
日々の暮らしに「たまにできる、ちょっといいこと」をプラスする  
日常+(プラス)ジビエな発想や行動が  
あなたの生活、誰かの生活、みんなの未来をすこし豊かにします。

日本全国のいろいろな場所で、  
おいしいジビエを味わうためのジビエフェアを開催します。  
新たな食の魅力を発見するとともに、  
ジビエのたもたらす自然のめぐみを楽しんでみませんか？

※詳細：株式会社ぐるなび  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 丸の内ビルディング10F 株式会社ぐるなび 企画部

全国ジビエフェア

